

# モジャコ漁場一斉調査

石田鉄兵・天真正勝・守岡佐保・長尾和年・須原 修・  
四宮昭彦・三好亮徳・藤岡保史・渋江 文

モジャコ漁業解禁に先立ち、流れ藻及びモジャコの来遊状況と漁場環境について事前調査を実施し、調査結果を関係機関へ広報した。なお、本事業は平成18年度資源評価調査事業により実施した。

## 調査の概要

- 1) 調査日 平成18年4月25日
- 2) 調査船 漁業調査船「とくしま(80トン, 1200馬力)」
- 3) 調査内容

図1に示した航走ライン上で、表面水温は古野電気製T120-Eにより測定し、海洋データ処理システム(NDSシステム製)により船内サーバーへデータを保存した。また、目視により潮境や流れ藻を確認し、網口9.5mのまき網を用いて流れ藻を採集した。そして、直ちに船上で流れ藻からモジャコ等の魚介類を分別し氷冷にてサンプルを保存した。氷冷サンプルは水産研究所へ持ち帰り、流れ藻毎に魚種査定を行い、モジャコについては個体別の尾叉長と体重を、その他の魚介類は個体数を計数した。

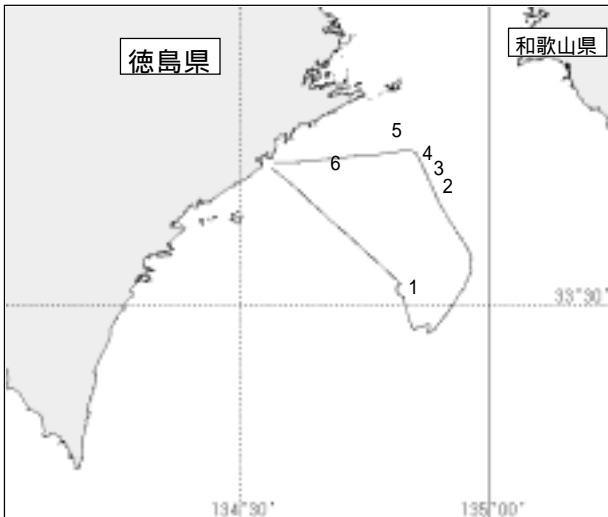


図1 モジャコ調査航跡及び採捕地点(2006年4月25日)

表2 モジャコ調査結果(平成13年以降)

| 調査年 | 調査月 | 調査日   | 航走距離(マイル) | 藻すくい回数 | モジャコ採捕数 | 航走10マイル当たり流れ藻数 | 航走10マイル当たりモジャコ採捕数 | 流れ藻採集数当たりモジャコ採捕数 | モジャコ平均尾叉長(mm) | モジャコ尾叉長(mm) |
|-----|-----|-------|-----------|--------|---------|----------------|-------------------|------------------|---------------|-------------|
| H13 | 4   | 11~17 | 272       | 33     | 85      | 1.2            | 3.1               | 2.6              | 26.0          | 13 50       |
| H14 | 4   | 10~15 | 286       | 43     | 582     | 1.5            | 20.3              | 13.5             | 81.8          | 12 168      |
| H15 | 4   | 14,15 | 169       | 23     | 135     | 1.4            | 8.0               | 5.9              | 40.1          | 16 130      |
| H16 | 4   | 21,22 | 168       | 19     | 469     | 1.1            | 27.9              | 24.7             | 72.9          | 13 133      |
| H17 | 4   | 8,28  | 80        | 2      | 1,418   | 0.3            | 177.3             | 709              | 48.2          | 13 253      |
| H18 | 4   | 25    | 64        | 6      | 11      | 0.9            | 1.7               | 1.8              | 28.0          | 14 126      |

## 調査結果の概要

モジャコ調査結果は表1のとおりであり、6個の流れ藻を採取した。それら流れ藻のあった地点での表層水温は16.1~18.5であり、モジャコが採捕されたのは地点1と6であり、採捕尾数はそれぞれ9尾, 2尾の計11尾だけであった。流れ藻は採捕地点2から5では多く視認されたが、モジャコの付着はみられなかった。

採捕されたモジャコの尾叉長は表2のとおり採捕地点1では14~19mm, 採捕地点6では26, 126mmであった。

その他、モジャコ以外にはメジナ, シマアジ, イスズミ等が採捕された。近年のモジャコ調査結果を表2に示した。各年によって航海状況は異なるが、モジャコ採捕数は平成13年度以降では最も少なく、航走10マイル当たりモジャコ採捕数は1.7尾と最も少なかった。

以上の結果は「モジャコ漁場調査結果」として速報により関係機関へ情報提供を行った。

平成18年度の徳島県におけるぶり稚魚(もじゃこ)特別採捕期間は5月6日から5月28日までの23日間であった。採捕状況は期間の前半は流れ藻は少なく、後半にまとまった採捕があったものの期間を通じては低調であった。

表1 平成18年度 モジャコ調査結果概要

| 採捕地点 | 北緯       | 東経        | 表層水温(°C) | モジャコ採捕数(尾) |
|------|----------|-----------|----------|------------|
| 1    | 33° 43.6 | 134° 36.9 | 18.4     | 9          |
| 2    | 33° 44.7 | 134° 50.0 | 16.1     | -          |
| 3    | 33° 44.7 | 134° 50.8 | 17.3     | -          |
| 4    | 33° 42.6 | 134° 52.3 | 17.6     | -          |
| 5    | 33° 32.0 | 134° 49.0 | 17.6     | -          |
| 6    | 33° 43.6 | 134° 36.5 | 18.5     | 2          |

表2 モジャコ調査結果概要表

| 採捕地点 | 尾叉長(mm)                    |
|------|----------------------------|
| 1    | 14,15,17,17,17,18,19,19,19 |
| 6    | 26,126                     |